

いこいの家通信

こどもの家 いこいの家

静岡市葵区城東町二四番一号 TEL二四九・三一九〇

令和8年6月1日
No. 526

お母さんの詩



「大切な宝物」

0くん(6歳)のお母さん

桜の咲き始めた頃に息子は産まれました。

産まれた時に泣く、産声は聞こえませんでした。私はすぐに息子を見たら、しっかり動いていて、ホッとしました。しかし、小さく産まれたため、すぐに病院に搬送されましたNICUで1ヶ月間入院し、家に帰るとパパや長男に初めて会い、家族みんな揃いました。

毎月病院に通い、「大事な話があるので、今度ご主人と来てください」と言われ、何を言われるんだろうとドキドキし、先生から話を聞くまでは平常心ではいられませんでしたが、先生からは聞いたことのない病名。主人も私も病気について調べると、症例が少ないことがわかりました。筋肉が弱い病気の為、握る力、立つ力、飲み込む力などが弱いため、首がすわることもつかまり立ちすることも他の子とは遅かったです。外出をすれば、すれ違う人からの

視線を感じ、どうしても長男や他の子と比べてしまう。でも、うちの子はうちの子。

訪問看護の方の勧めもあり、親子教室に通うようになりました。同じ境遇の親子さんに出会ったり、歌をうたうと喜ぶ息子の顔を見て嬉しくなりました。

4歳の時にいこいの家に入園しました。朝の会では歌が流れると、「待ってました」という感じで、カラダ全体で嬉しさを表現しています。入園式の時には、マイクの音が苦手で大泣きでしたが、今ではドンと構えています。

この3年間で息子はいろいろなことに興味を持ち、感情を一生懸命で表現してくれるようになりました。長男がピアノを弾くとそばに近づき、リズムをとったり、好きなテレビを見ると机を叩いて喜んだり、時にはママの姿が見えなくなるのと泣き出したり感情が豊かになっていきます。自分で見た事、聞いた事、感じた事を話さできないけど、ちゃんと表情で伝えてくれます。

発達は他の子より遅いけど、リハビリを頑張り今は付き添いで階段を登ることができるようになりました。

した。最近では、甘えなのか、抱っこをしようとすると力を抜いて、抱えられないようにしています。どこでそんなことを覚えるようになったんだろう：小さな事でも息子は確実に成長していて、私達家族を和ませてくれています。

息子の産まれた桜の咲く時期には毎年家族で桜を見に出かけています。いにと一緒に走り回ったり、笑い声が聞けるのを楽しみにしたいと思います。

いこいの家での経験により、物を掴むことが苦手だった息子が、今では自ら進んで触れるようになりました。一緒に頑張っている親子さんからは、障害児を抱えているながらも明るく元気な姿に、勇気付けられて非常に頼もしく感じました。先生方、親子さんには息子を通じて感謝しています。

卒園までカウントダウンが始まっています。最後の最後まで楽しく過ごしていけたら良いと思います。





こどもの日の集い

5月1日はプレイルームにてこどもの日の集いを行いました。みんなで“こいのぼり”のうたを歌ったり、大きなこいのぼりを触ったり、各クラスのカラーの画用紙にうろこをつける製作を行い全クラスで協力し、大きなこいのぼりが完成しました。

こどもの日は、端午の節句の日でもあります。こどもたちみんながこれまで元気に育ち、大きくなったことをお祝いしました。



こいのぼりがみんなのうえをおよいだよ～



五月人形の前でハイチーズ！



カラフルなこいのぼりができたよ





プレゼント紹介

昨年度も清水エスパルス、静岡英和女学院中学校・高等学校、雙葉中学校・高等学校の皆さんから温かいご寄付をいただきありがとうございました。

ご寄付を活用し、子どもたちが活動や食事の時間に使用する椅子 10 脚と、日々の活動を記録するデジタルカメラ 1 台を購入しました。子どもたちは新しい椅子に嬉しそうに座り、毎日元気いっぱい活動しています。

いただいたご支援を大切に活用しながら、これからも子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

デジタルカメラ



こども用椅子



ありがとう
ございました



いすの高さもぼっちりだよ！



今から朝の会が始まるよ～♪

